

落ち着いて学習に取り組むための 生活や学習のルール

褒めや認め場面作りのためのルール

クラス毎に並んで教室移動

行動が遅れがちな児童生徒や、苦手意識から授業に行きしぶる児童生徒も、友達が待っていてくれる、励ましてくれることで、全員揃って、次の授業に向かうことができます。

廊下は右側を歩く

本校は、肢体不自由と知的障害の児童生徒が共に学ぶ学校です。右側を歩くことを徹底することで、車椅子の児童生徒も安心・安全です。



教師は、にこやかだけど毅然とした態度でルールの徹底を心がけます。

チャイムが鳴ったら

授業の準備をしてすわって待つ
気持ちを切りかえて、次の授業に向かうことができます。

教師自ら、お手本となる挨拶を心がけています。

授業のはじめと終わりには みんなで挨拶をする

正しい姿勢、大きい声で挨拶することで、授業の始まりと終わりを意識することができます。

全員揃わないときは待ちます。
やり直しをすることもあります。

手はひざ、背中ピン、目をつないで聞く

話を聞くときの姿勢を正すことで、しっかり注意を向けることができます。



教師は、ルールを守っている児童生徒、当たり前ことができている児童生徒への褒めや認めの言葉かけをたくさんするようにしています。

教師は、姿勢、目がつながっているかの確認をしてから話し始めます。
全員揃うのを待つことで、全員が授業に参加できます。

「〇〇さん」「～ですか？」教師も丁寧な言葉で話すことを心がけています。

手を挙げて発言

授業中の私語がなくなり、静かな環境で授業が進みます。



名前を呼ばれたら「はい」と返事 丁寧な言葉で話す

指名されたら返事をして、「～です」と丁寧な言葉で答えます。生活場面にもつながります。

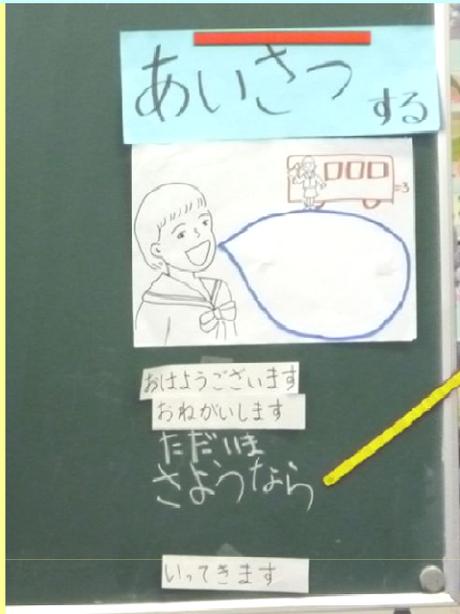
落ち着いて学習に取り組むための生活や学習のルール

褒めや認め場面作りのためのルール

ルールや約束の掲示
 学習のルールをシンプルなイラストカードで個別に提示することで、教師の言葉での注意が減り、正しい行動をとることができます。



場所が見て分かる
 「すわって待つ」「並ぶ」場所を示すことで、正しい行動をとることができます。



教師は、児童生徒が「ルールを守れた」「約束を守って行動できた」という場面を作るために、見て分かる支援やできるための状況を仕組んでおいて、それを褒め、認めにつなげます。

ルールや約束の掲示
 学習や生活のルール、約束を簡単なイラストと文字で提示することで、分かりやすく、守ろうと意識できます。



時間が見て分かる
 「〇分までに～する」「〇分から～する」が見て分かると、時間を守って行動することができます。



